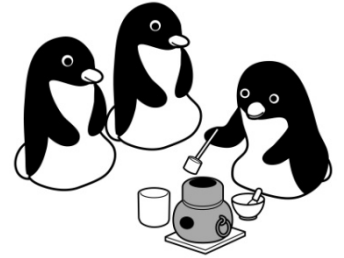


茶華道部通信



平成27年2月27日

顧問 久保田 美冬

丑田 幸子

2年生の保護者の皆さまにおかれましては、茶華道部の部活動にご理解・ご協力くださり感謝いたしております。この通信をもちまして活動のご報告をさせていただきますと思います。

2月27日(金)浜小・下坂部小学校の小学生達がクラブ体験に参加をしました。茶華道部の体験希望者はなんと21人!ほかの部活動と比べてもかなり多い人数でした。

少人数でお稽古することが多い茶道です。21人も…どうしよう…。しかも体験時間は50分。まったくお茶を知らない小学生達に、茶の湯がどういうものか知ってもらうために、2年生が前日からミーティングをして考えました。50分という限られた時間です。でも伝えたいことはたくさんあります。どこまで説明してあげられるか、どこまで体験させてあげられるか…「ああでもない、こうでもない」体験入部が始まる直前までみんなで考えました。

クラブ体験が始まり部長の福田さん、副部長の中本さんが小学生を誘導して部室まで連れてきてくれました。小学生達は中学校に来て緊張している様子です。

茶道の基本姿勢は正座です。小学生に正座をしてもらいました。この正座に耐えられてこそお稽古です。

まず最初に福田さん・小川さんが、茶華道部の活動内容について説明してくれました。

次に、中本さん・水野さんが茶道具の紹介をしてくれました。お茶碗、茶筌、茶杓、なつめ、柄杓、鉄瓶。初めて見た人も多かったと思います。

そして福田さんがお茶の種類(薄茶と濃い茶)、お作法の意味について説

明をした後、2年生がまずお手前の手本を小学生達に見せました。

亭主役は福田さん・小川さん。正客役は久富さん、中本さん。

「後から小学生のみなさんに、お客さん役をやってもらいます。先輩の手元をよく見ておいてください」というと、小学生が不安な表情になり緊張感が走りました。

亭主がお茶を点てた後、説明役の徳井さんが正客の一つ一つの作法を説明して、正客役が一つ一つの作法を見せていきました。

次は小学生の体験です。21服も短時間で点てるのは大変なはずでしたが、そこはやはり2年生！すばやく茶せんを動かし、次々とお茶を点てていきました。守屋さんが小学生の前に座り見本役をしてくれました。対馬さんと田畑さんが小学生の中に入り、小学生の手元を確認し指導役をしました。

小学生達は慣れない手つきでしたが、周りを見ながら一生懸命お作法の真似をしようとしていました。

時間がぎりぎりかなと思いきや・・・スムーズに進んだためすこし時間が残りました。

そこで久保田先生による「茶の湯の歴史講座」

昨年、大河ドラマで軍師官兵衛がやっていたためか、千利休と豊臣秀吉の関係を知っている子がいてびっくりしました。

最後に2年生全員による袱紗さばきのお手本。小学生は今はまだ難しいので見学だけ。そこで、クラブ体験は終了しました。

2年生のみなさんは、自分ができても教えることは難しいことだということを実感できたと思います。小学生に教えることで、自分の作法・所作を振り返る機会になったのではないのでしょうか。

4月には新入生が入ってきます。また後輩が増えます。今日それも実感できたと思います。一体どこまで茶華道部は大きくなっていくのでしょうか。今までは、教えてもらうことが多かったと思いますが、今日小学生に教えたことでみなさんの中で変化が起こることを期待しています。

これからは「先輩として教えていく。そのためにもお作法に磨きをかける」2年生のみなさんには、そう意識しながらこれからお稽古に励んでもらえたらと思います。

